

2014年5月19日(月) 19:00 – 21:00  
OCPJ Meet up @ NTTコミュニケーション

—すべてのステークホルダーから信頼され支持される企業へ—  
**ADMIRER COMPANY**

# OpenRackから見た Open Compute Project

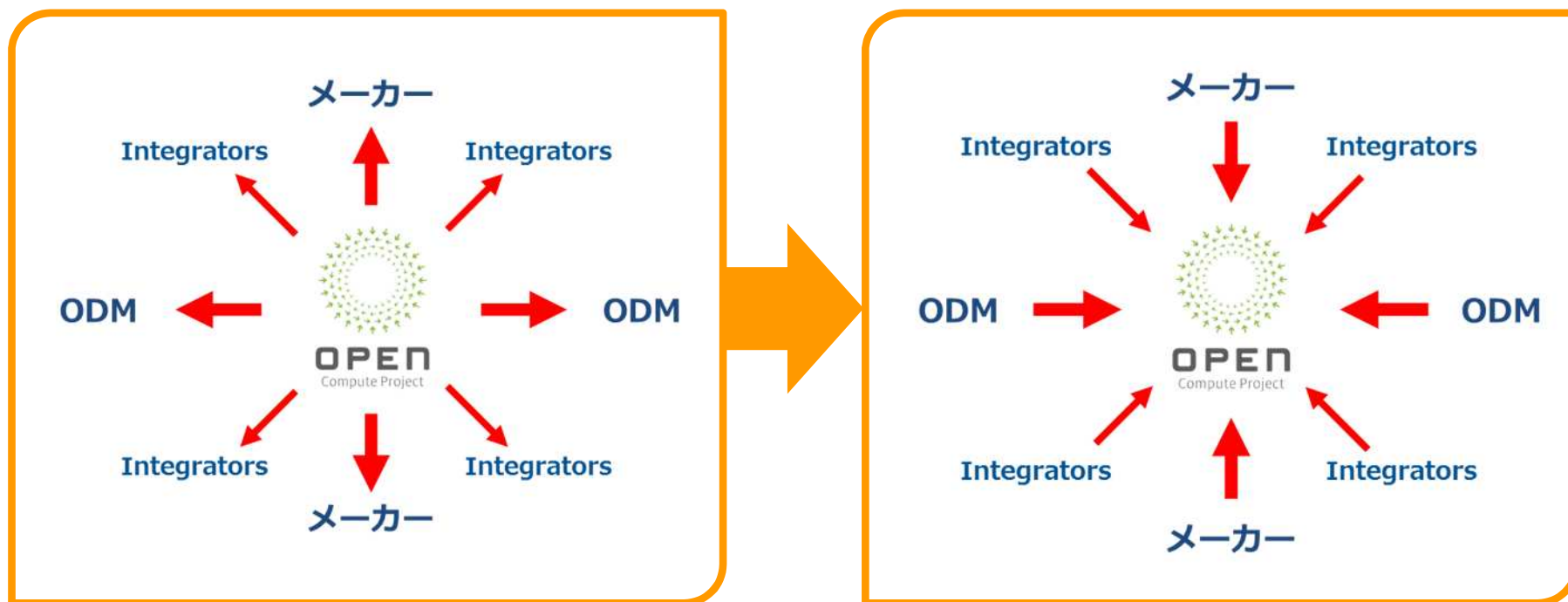
2014年5月19日  
ネットワークシステムズ株式会社  
経営企画本部 事業開発室  
花山 寛 hanayama at netone.co.jp



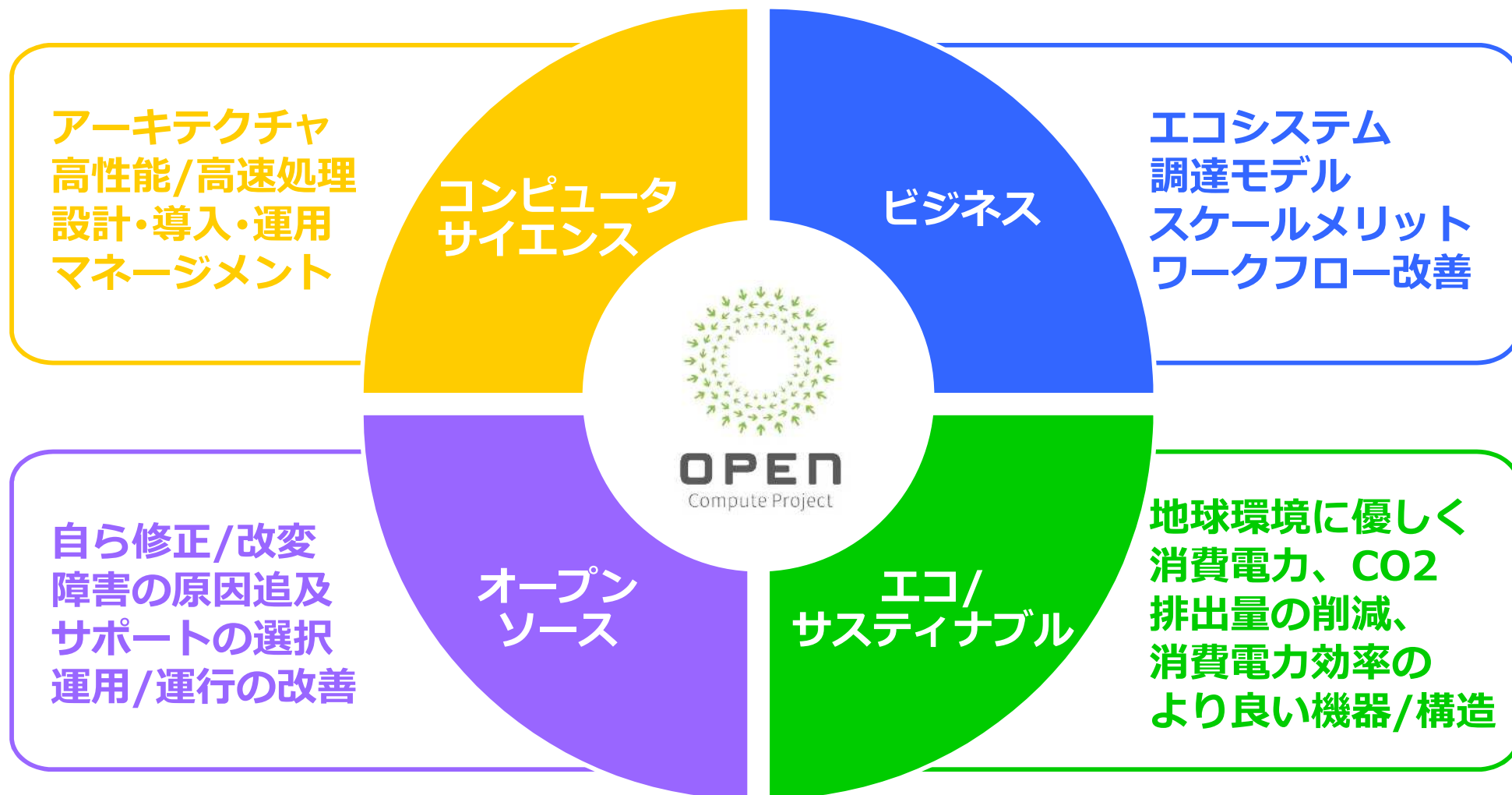
# 最近のOCPの見え方、

## ■ 立上げから3年経過しステージも変化

■ サーティフィケーション ⇒ ある種のブランド戦略  
■ サービス・プロバイダ



# 捉え方



# Open Rack

---

- 色々な種類が存在している
- 微妙に大きさ、Power Shelfなどのスペックが異なる
  - Open Rack V1
  - Open Rack V2 **DRAFT**
  - Colocation Rack
  - Rackspace Open Rack
  - Fidelity Open Rack
  - # Open Bridge Rack
  - China Scorpio 2.0
- 名称はOpen Rackだが、
  - ファンがサーバからラック側にマウント
  - バス・バー、パワーシェルフが異なる
  - 21インチのみならず19インチも
  - 当然、中のサーバ、JBODの形状も変化

# メーカーから出ているOpenRack製品 例

---

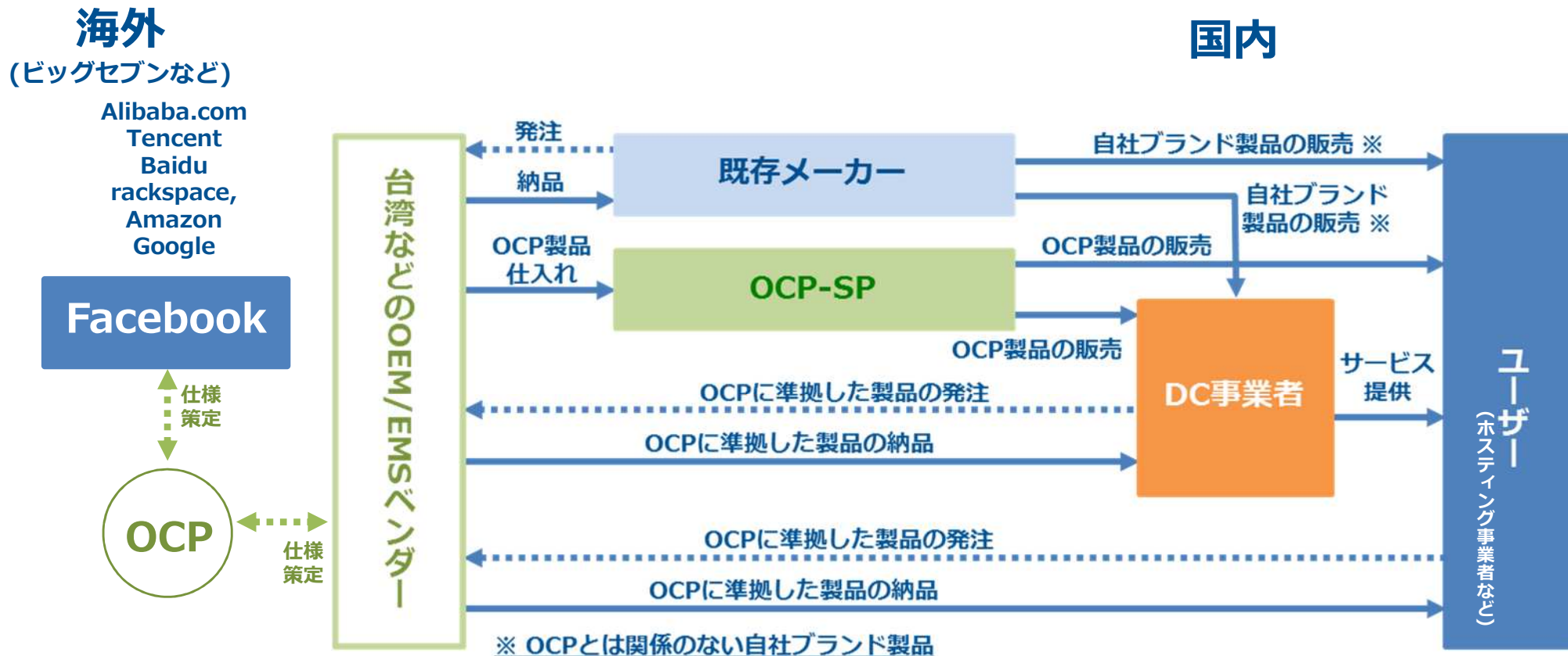
## ■ Quanta社 Rackgo X Series

[http://www.quantaqct.com/en/01\\_product/01\\_list.php?mid=28&sid=168](http://www.quantaqct.com/en/01_product/01_list.php?mid=28&sid=168)

## ■ GIGABYTE社 DataCenter Solution

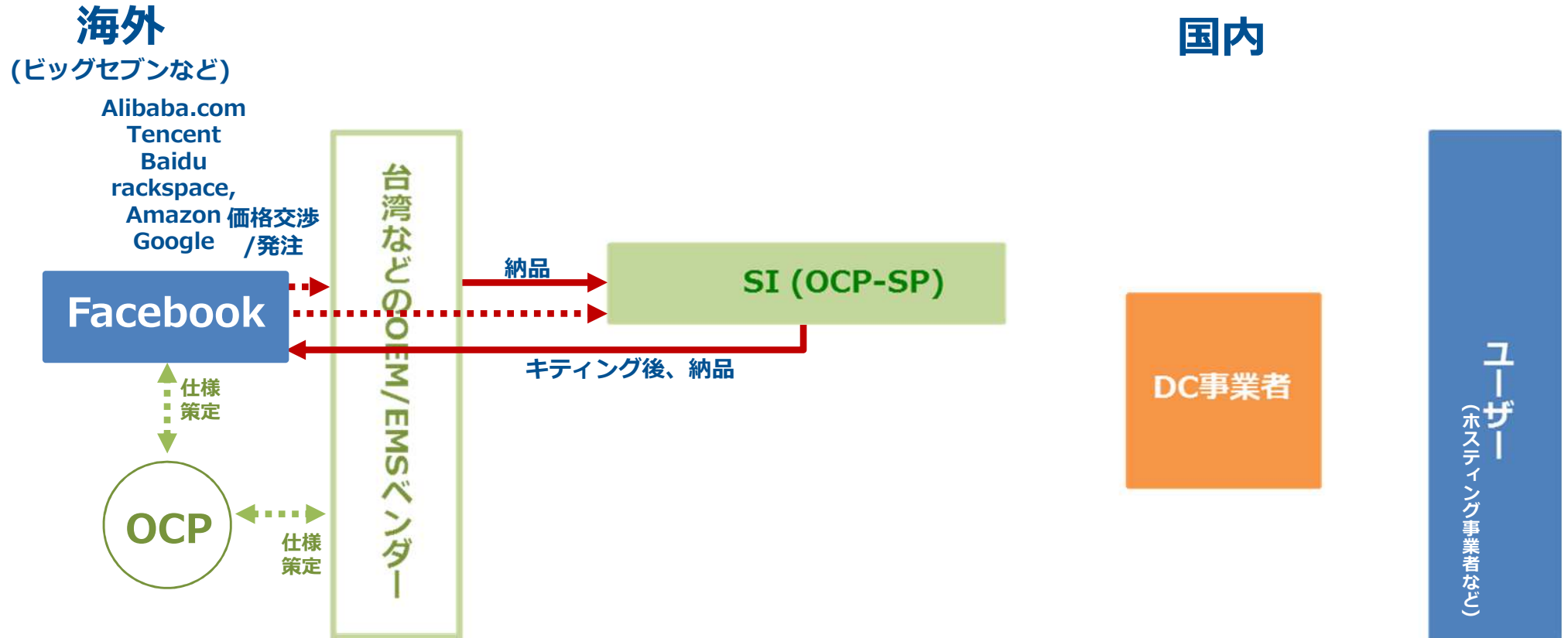
<http://b2b.gigabyte.com/MicroSite/354/openrack.html>

# OCP関連の流通チャネルのイメージ



出典・参考・改編 BCN BizLine “OSSのハードウェア版”がやってくる!? 「安くてうまいツール」が及ぼす衝撃度を測定する  
[http://biz.bcnranking.jp/article/limitation/1405/140508\\_136385.html](http://biz.bcnranking.jp/article/limitation/1405/140508_136385.html)

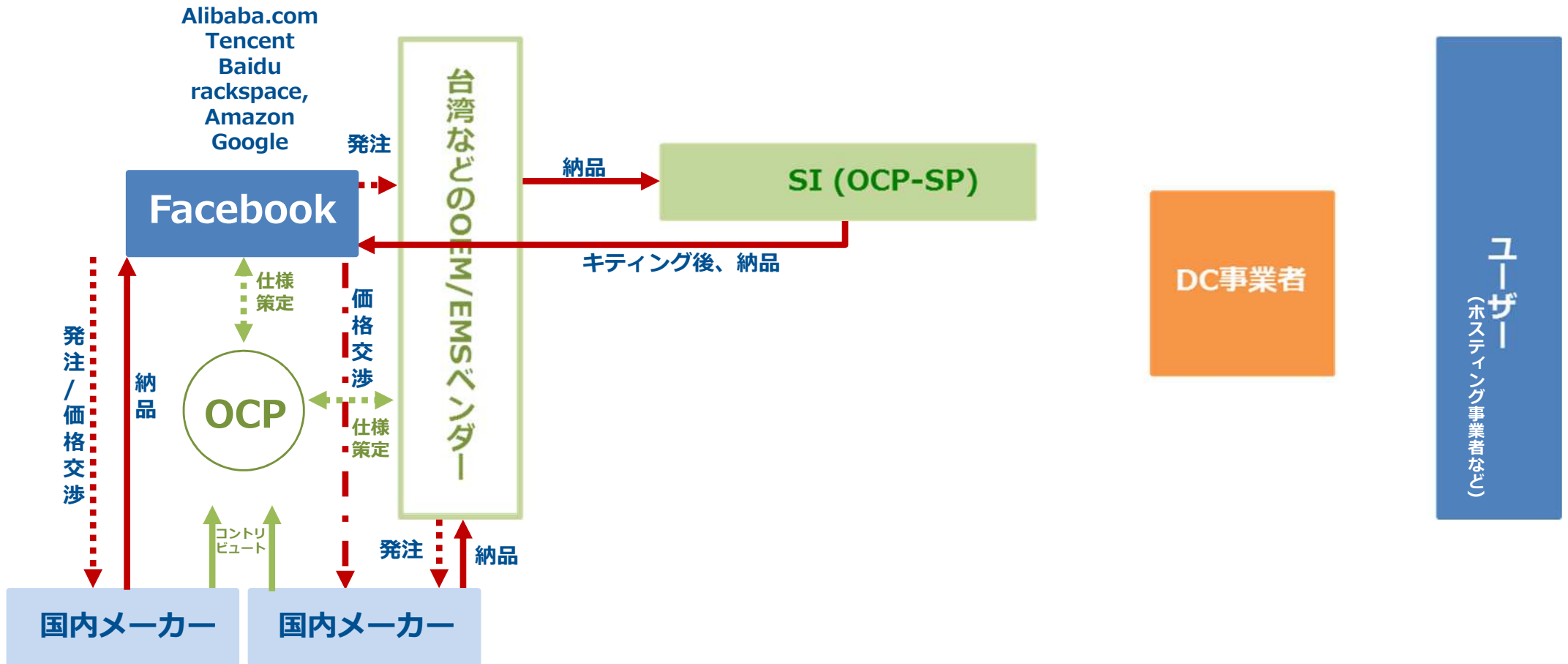
# Facebookの場合



出典・参考・改編 BCN BizLine “OSSのハードウェア版”がやってくる!? 「安くてうまいツール」が及ぼす衝撃度を測定する  
[http://biz.bcnranking.jp/article/limitation/1405/140508\\_136385.html](http://biz.bcnranking.jp/article/limitation/1405/140508_136385.html)

# 今後の期待：日本は世界を目指す！

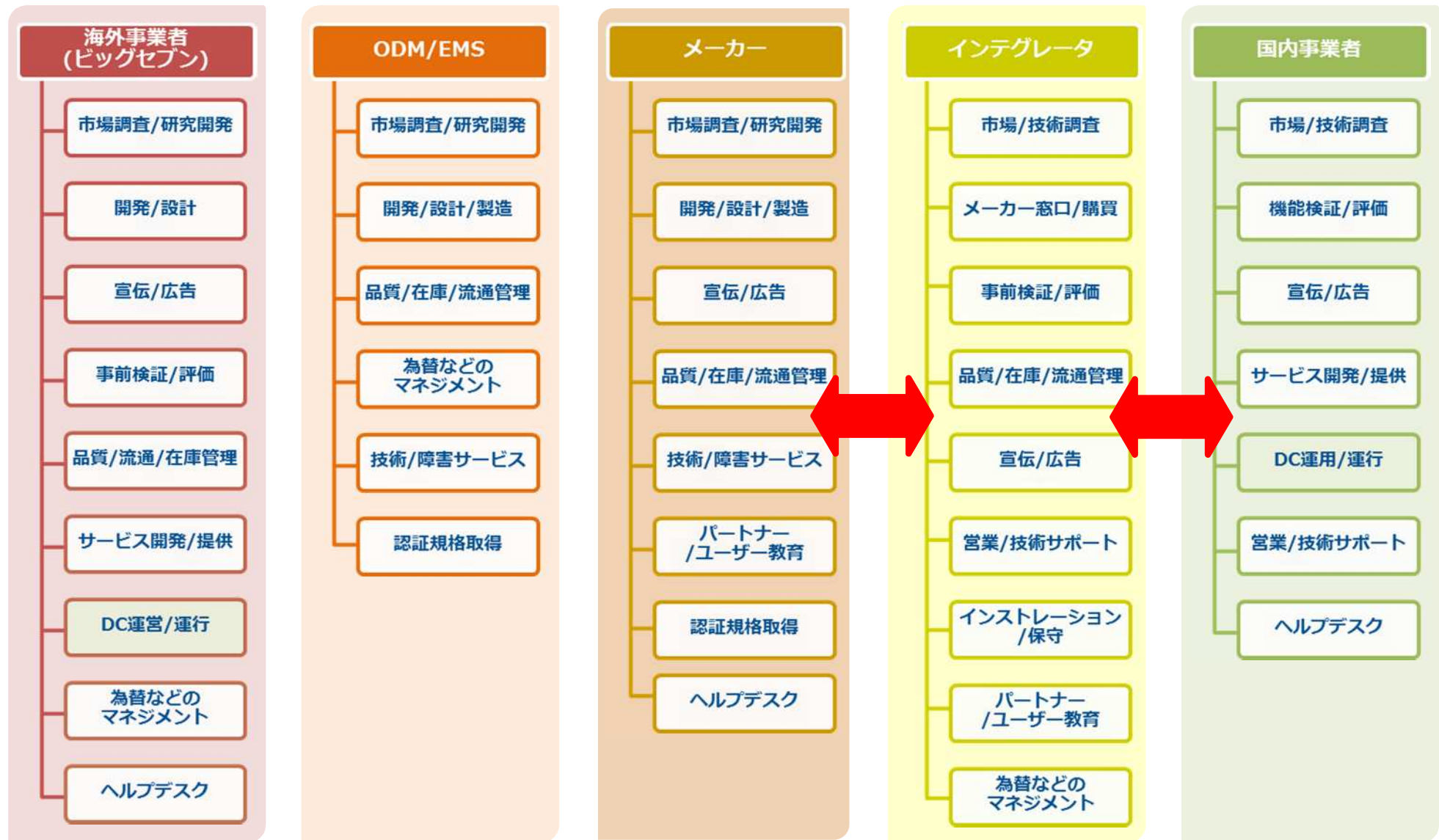
## ■ メガ事業者のマーケットにダイレクトアタッチ



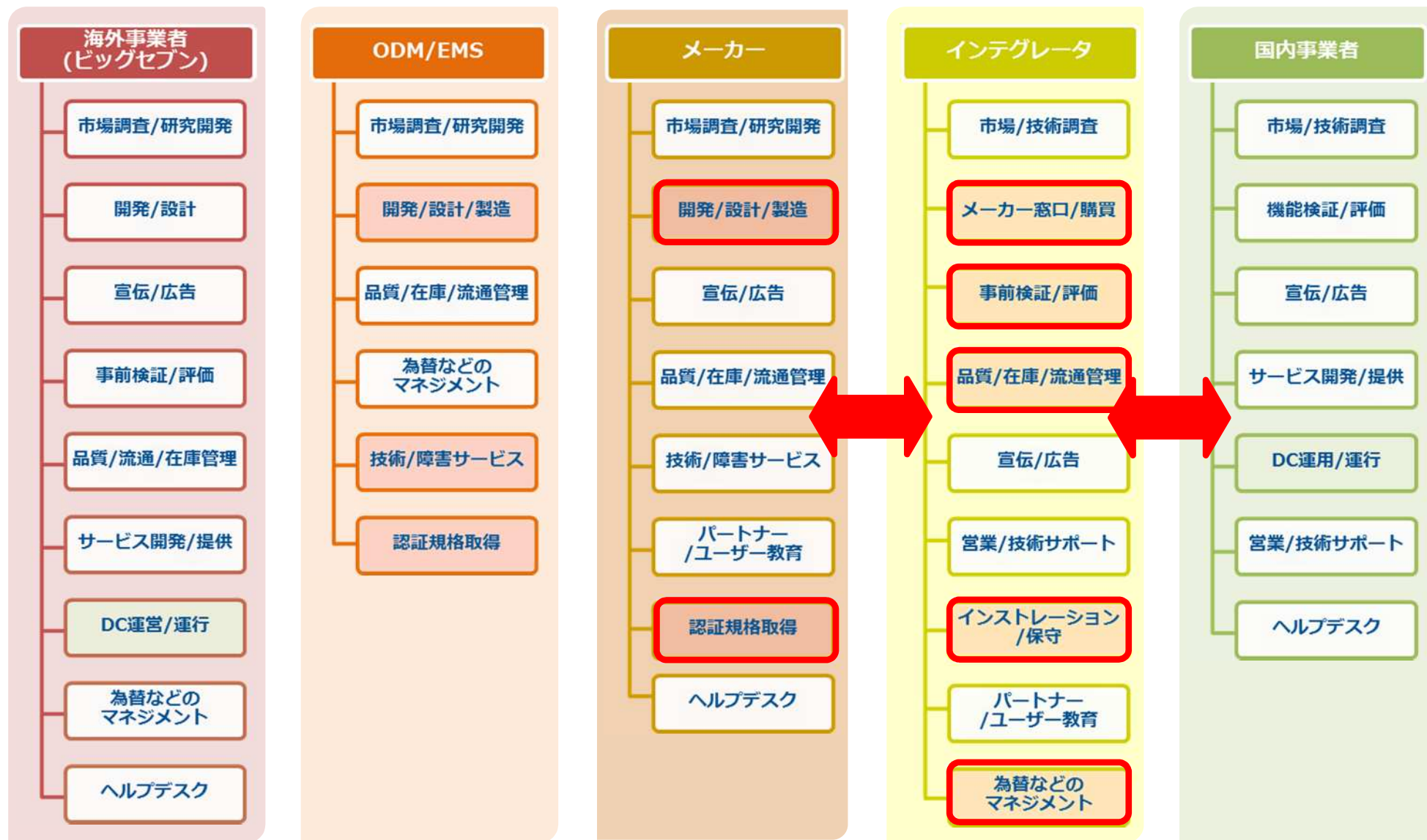
出典・参考・改編 BCN BizLine “OSSのハードウェア版”がやってくる!? 「安くてうまいツール」が及ぼす衝撃度を測定する  
[http://biz.bcnranking.jp/article/limitation/1405/140508\\_136385.html](http://biz.bcnranking.jp/article/limitation/1405/140508_136385.html)



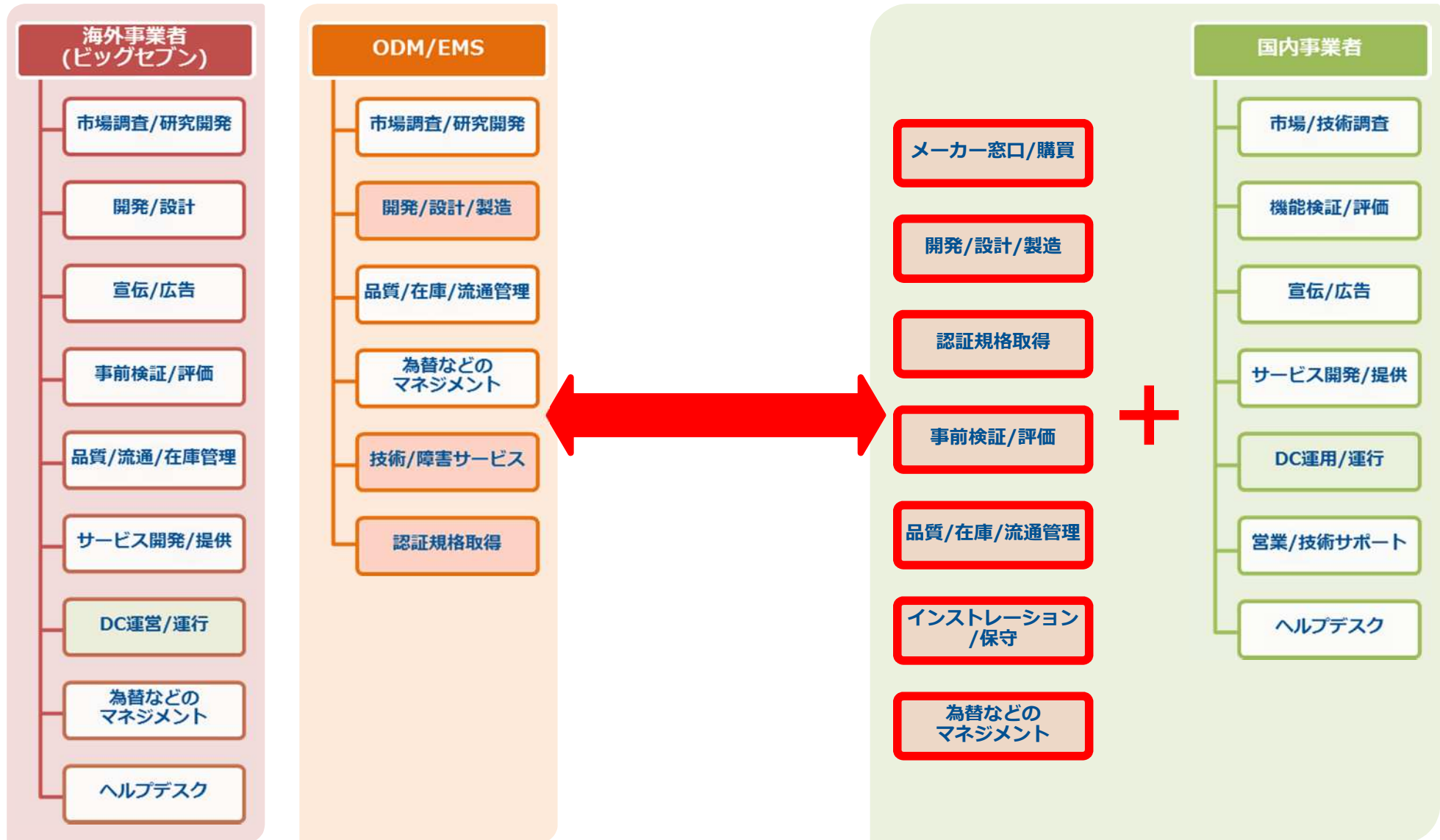
# フローと機能(プロセス)



# 必要となる機能(プロセス)



# 必要となる機能(プロセス)

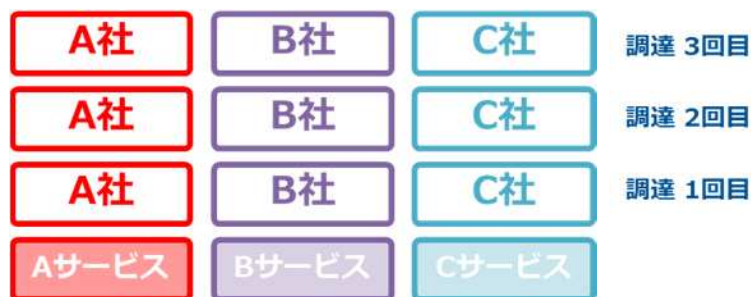


# 調達・システム設計・運用・管理

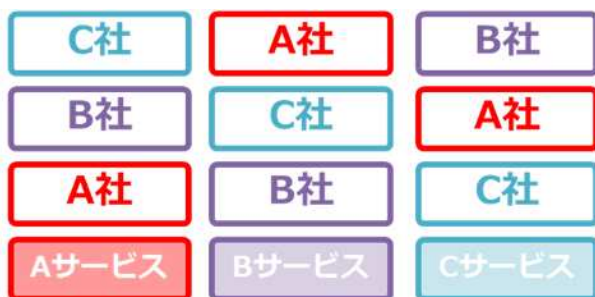
■ システムの多様化が運用性の煩雑さとコスト増加をもたらす

■ 導入スケール(台数などの規模)により顕著

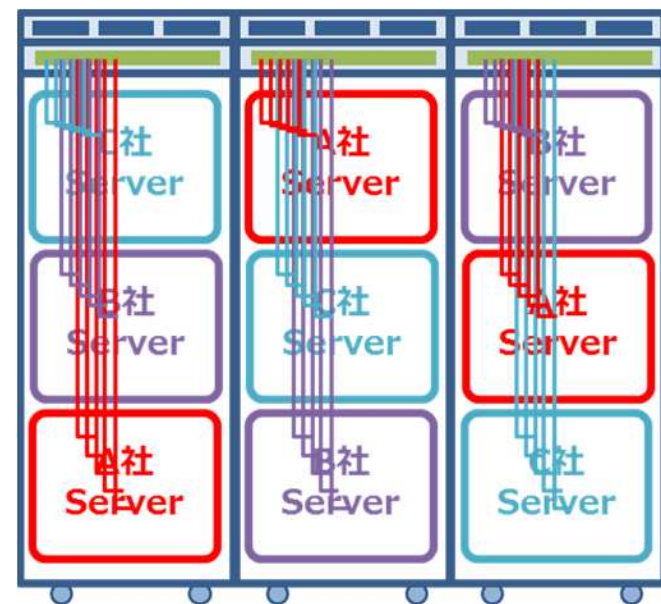
- 調達 : 国内、グローバル、特定メーカー、
- システム設計 : 全体アーキテクチャ、全体最適、部分最適、
- 管理 : 個別のシステム管理とワークフロー、バージョン管理、機器に合わせた配線、電源、空調、エアフロー、etc、



スイート型  
: 管理ツール、認定資格者、etc、



ベスト・オブ・ブリード型  
: 管理ツール、認定資格、etc  
: 相互接続、運用管理、、、



# まとめ

---

- その時々<sup>○</sup>の目的/目標(To-Be)と技術の組み合わせにより仕様化が行われ、事業者の大量ロットで一括発注/製造。結果として多品種/多様化になっている
- OpenRack、サーバなど「物」の視点のみではなく、
- 運用を含めたシステムアーキテクチャを視野にした業務合理化/改善、業務改革などのプロセス改善(全体最適)として捉えるべき
  - システム設計、調達モデル、運用プロセスの変更など
  - 運用プロセス
    - 可視化、標準化、変更、自動化、品質管理、構成変更など

つなぐ ∟ むすぶ ∟ かわる



<http://www.netone.co.jp>

本セッションの資料の一部または全てを著作権法に定める範囲を超え、無断で複製、転載、テープ化、データファイル化をすることを禁じます。記載されている会社名、製品名は各社の登録商標または商標です。Copyright、TM、Rマークの表記を省略していることがありますが、本資料を作成する目的のみでそれらの商品名、会社名を記載しており、その商標権を侵害する意思、目的をもっていないことを申し述べておきます。Net One Systemsとロゴ、ネットワークシステムズ株式会社は登録商標です。その他の社名、ロゴ、製品名、サービス名は各社の商標または登録商標です。本資料の無断転用はご遠慮願います。